

# 町会・自治会だより

# しかはま

- 多文化共生推進
- 「水害」への備え
- 保護司のあいさつ運動
- 青少年健全育成を図る
- 子ども会表彰受賞
- 谷在家公園「パークで筋トレも」
- 編集後記

主催・発行／足立区鹿浜地区町会・自治会連絡協議会  
 編集／編集委員会  
 鹿浜6-12-6 鹿浜区民事務所内  
 TEL 03-3853-2301

## 20年後には10人に1人が外国人に

「多文化共生」を推進しましょう



日本で暮らす外国人は年々増加しています。2020年1月現在で足立区の人口の約5%が外国人です。

また、20年後の2040年には都内の10人に1人が外国人になるとも言われています。

外国人のなかには、言葉や習慣の違いから地域のルールやマナーに戸惑ってしまい、困っている人がいます。「ごみの出し方」が良くわからずに間違ってしまう人もいます。

日本人も外国人も地域で気持ちよく暮らしたい思いは一緒です。お互いが地域の一員として協力しながら、ともに暮らしていくことが必要です。そのためには「お互いの言葉や文化を認め合い」「助け合いながら対等な関係を築いていく」ことが大切です。このことを「多文化共生」と呼んでいます。

## やさしい日本語で話してみよう

「多文化共生」を進めるために、まずは外国人と「やさしい日本語」で話してみよう。

外国語がわからなくても大丈夫です。地域に住んでいる外国人は、ゆっくりと簡単な日本語で話すと理解できる方がたくさんいます。



### やさしい日本語とは

「やさしい日本語」とは  
普段使われている日本語を、  
より簡単にわかりやすくした  
日本語のことです。

- |    |                    |                 |
|----|--------------------|-----------------|
| 例) | ●可燃ごみ ⇨ 燃やせるごみ     | ●欠席 ⇨ 休む        |
|    | ●土足厳禁 ⇨ くつをぬいでください | ●避難 ⇨ 安全なところに行く |
|    | ●登校 ⇨ 学校に行く(来る)    | ●火災 ⇨ 建物などが燃える  |

優しい気持ちで「やさしい日本語」を使うことで、外国人だけでなく、小さな子どもやお年寄りなど、多くの人とより良いコミュニケーションを図ることができます。

「多文化共生」を推進して、鹿浜地域を皆が住みやすいまちにしていきたいと思います。





町会・自治会の  
ネットワークに  
参加しましょう

各町会・自治会役員対象の  
避難所運営の説明会が開催されました

令和元年10月の台風19号は関東・甲信・東北地方に未曾有の被害をもたらし、改めて水害の恐ろしさを私たちに知らしめました。

それを踏まえ、昨年秋(令和2年)足立区で水害時の避難所となる小・中学校において各町会・自治会の役員を対象に運営手順の説明会が順次開催されました。

各種手順の説明と避難方法に関する区側の広報について説明がありました。

また、避難所の収容人員からみても地域住民すべての受け入れが物理的に不可能なことから、「水平避難」「垂直避難」についても今後広報していくとのことでした。

昨年秋は幸いにも台風上陸のない年となり、水害への備えや心構えを忘れがちです。

しかし、ところどころに表示された水害時に想定される最大浸水深を示す線の高さは、私たちに準備の必要性和覚悟を訴えています。

近年気象予測の精度は高まっています。台風19号は予測どおりの進路と被害をもたらしました。事前により遠方の安全な地域への避難、近隣の頑丈な高層住宅への避難等、どこへ避難したら安全なのかは日頃から考えておきたいものです。

地震、洪水、台風、まさに災害大国日本。町会・自治会を通じた情報や助け合いのネットワークの重要性を今一度認識する必要があるのではないのでしょうか。避難所で中心となって活動していただいているのはそのネットワークの方々なのです。町会・自治会に加入して、助け合いのネットワークに参加しましょう。

(副編集長 矢萩 敏隆)



▲水害の最大浸水深の掲示



▲説明会の様子

## 鹿浜菜の花中 保護司のあいさつ運動



▲あいさつ運動の様子



▲大久保校長先生と保護司の皆さん

### 「おはよう」元気な声で



令和2年12月14日～18日、足立区保護司会西新井第3分区では、鹿浜菜の花中学校で登校時のあいさつ運動を行いました。地区の保護司8名が参加し、学校教職員とタイアップし、東門・西門で登校する生徒全員に元気に声をかけました。

最初は多少戸惑いがちだった生徒も日を重ねるに連れ、大きな声で「おはよう」と返事をするようになりました。

足立区保護司会では、鹿浜菜の花中以外、多くの小・中学校で見守り活動の一環としてあいさつ運動を行っています。元気にあいさつをし、コロナ禍のストレスを吹き飛ばしましょう。

(編集長 野辺 慎一)

町会・自治会加入に関する問合せは鹿浜区民事務所(03-3853-2301)までお願いします。

鹿浜地区対新会長あいさつ

# 青少年健全育成を図る

足立区青少年対策鹿浜地区委員会  
会長 浅香 孝子



令和2年7月から足立区青少年対策鹿浜地区委員会（鹿浜地区対）会長に就任しました浅香孝子と申します。

地区対とは、足立区青少年問題協議会において調整した施策に協力するとともに、地域の実情に応じた各種の事業を実施し、青少年の健全育成を図ることを目的としたボランティア団体です。

鹿浜地区対は、地域の小学校・中学校長、児童委員、保護司、青少年委員、スポーツ推進委員、PTA会長、青少年団体代表者、町会・自治会長などの方々に構成されています。

鹿浜地区対の主な事業は下記のとおりです。残念ながら、令和2年度は新型コロナウイルスの影響でほとんどが中止となってしまいました。

この状況が落ち着きましたら、再び一丸となって活動に取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

## 鹿浜地区対の主な事業

- 「ラジオ体操大会」
- 「鹿浜地区町会・自治会連合運動会」（鹿浜町自連との共催）
- 「鹿浜地区小学校・中学校合同音楽会」
- 「善行青少年顕彰」
- 「鹿浜・第八地区少年団体協議会（地少協）合同球技大会」



▲大人も子どもも楽しめる連合運動会



▲感動を呼んだ合同音楽会





▲椿子ども会のみなさん



## 全国子ども会表彰受賞



椿子ども会（加藤 稔弥 会長）と椿子ども育成会（中村 卓雅 会長）が全国子ども会連合会から令和2年度優良団体として表彰されました。

50年以上にわたり活発な活動が評価され、表彰に至りました。おめでとうございます。

## 谷在家公園 「パークで筋トレも」

谷在家公園は鹿浜第一小学校の南側にあり、中には雨水貯留施設等も埋設された複合的公園です。周囲は桜・けやき・くぬぎ・もみじ・プラタナスなどの木々で囲まれ中央の広場では犬の散歩や子どもと遊ぶ親子、そしてウォーキングをする人たちの姿がたくさん見られます。

厳冬酷暑の時期を除き、水曜日と日曜日にはこの地域唯一の「パークで筋トレ」が実施されています。シルバー世代の皆さんが新緑の緑香る中、また紅葉した木々が散らす落ち葉の中、指導員とともに体を動かしています。

コロナ禍のおり参加者は増えているそうです。

「筋トレ」後は、参加した皆さんの懐かしい唱歌の合唱が響いています。

（副編集長 矢萩 敏隆）



▲タオル体操で筋トレ



▲筋トレ後の合唱

### 編集後記

▶ある日の「区長のあだちな毎日（足立Aメール）」で、毎年恒例の元洲江公園での「光の祭典」がやむなく中止となったことを知りました。ただし、竹ノ塚駅周辺と国道4号線までの竹の塚けやき大通りのイルミネーションは例年どおりとのこと。イルミネーションの中に隠れている4匹の動物を探しに行ってきました。キラキラ輝く光の中、ポツンといる動物達。本来木に登ることのない「カモノハシ」がいたり、寒さも忘れて見入っていました。今年は、デジタル・イルミネーション「光の祭典2020」も開催され、自宅でも楽しめました。担当者のご苦勞に感謝です。（編集委員 豊岡 多恵子）

▶令和3年1月7日に緊急事態宣言が発出され、コロナ禍で困惑する新年となりました。もうすぐワクチン接種も始まり、

なんとしてもオリンピック・パラリンピックまでには平常の日常生活を取り戻したいものです。それには、私たち一人ひとりの注意と責任ある行動が肝心です。▶今回は地域で暮らす外国人と助け合い、お互いの文化を認め合おうという趣旨から「多文化共生」というテーマをとりあげました。▶現代は多様性の時代ともいわれています。地域の方々がいるいろいろな価値観をもって生きる——素晴らしいことではないですか。

（編集長 野辺 慎一）

編集長 野辺 慎一  
副編集長 矢萩 敏隆  
委員 江川 せつ子、坂井 孝夫、豊岡 多恵子、  
増田 寄雄、大滝 圭三  
事務局 鹿浜区民事務所地域担当係長 伊藤 智成

町会・自治会に加入して、安心・安全なコミュニティづくりに参加しましょう。